



平成 21 年 9 月 16 日

各 位

会 社 名 大 正 製 薬 株 式 会 社
本 店 東 京 都 豊 島 区 高 田 3 丁 目 24 番 1 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 上 原 明
(コード 番 号 4535 東 証 第 1 部)
問 合 せ 先 広 報 室 長 坪 井 正 樹
(電 話 03 - 3985 - 1115)

**Bristol-Myers Squibb Companyが保有するアジアにおけるOTC医薬品の商標権等
及びPT Bristol-Myers Squibb Indonesia Tbk株式の取得に関するお知らせ**

大正製薬株式会社(本社:日本国東京、以下「当社」)は、Bristol-Myers Squibb Company (本社:米国ニューヨーク州、以下「BMS 社」)との間で、アジア地域において BMS 社が保有する OTC 医薬品の商標権等のブランド資産(以下「本件ブランド資産」)、及び PT Bristol-Myers Squibb Indonesia Tbk(本社:インドネシア国ジャカルタ、インドネシア証券取引所上場、以下「BMSI 社」)の株式 97.97%を当社が取得すること(以下「本件取引」)について、2009 年(平成 21 年)9 月 15 日(米国時間)合意しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本件取引の概要

(1) 本件取引の対象となる株式

BMSI 社の株式: 優先株式 764,250 株、
普通株式 9,268,000 株
(BMSI 社の発行済株式の 97.97%)

(2) 本件取引の対象となる資産

アジア 8 か国¹における資産: 「Tempra」(解熱鎮痛薬)、「Counterpain」(外用消炎鎮痛薬)その他製品の商標権、製品登録及びURL
アジア太平洋 21 か国²における資産: 「Tempra」(解熱鎮痛薬)、「Counterpain」(外用消炎鎮痛薬)その他製品の商標権及びURL

¹ インドネシア、フィリピン、タイ、マレーシア、シンガポール、香港、台湾及びマカオ

² アフガニスタン、オーストラリア、バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、フィジー、インド、ラオス、モルディブ、マーシャル諸島、ミクロネシア、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、パプア・ニューギニア、ソロモン諸島、韓国、スリランカ、東ティモール及びベトナム

(3) 本件ブランド資産及び BMSI 社株式の取得価格

本件ブランド資産： 160 百万米ドル(約 145.6 億円³⁾)

BMSI 社 株 式： 150 百万米ドル(約 136.5 億円³⁾)

(4) 本件取引の日程(予定)

2009 年 9 月 15 日	本件取引に関する最終契約書締結
11 月頃	本件取引の実行(クロージング)予定
11 月頃	BMSI社の少数株主に対するTOBの開始 ⁴
2010 年 1 月頃	BMSI 社の少数株主に対する TOB の完了

【ご参考】

◇BMS 社の概要

①商号	Bristol-Myers Squibb Company
②事業内容	世界的なバイオフーマ企業であり、革新的なパイプラインを継続的に供給することを通じて、長く豊かな人生の実現に特化
③設立年月日	1887 年 12 月 13 日 ⁵
④本店所在地	米国ニューヨーク州ニューヨーク市
⑤売上高(2008 年)	20,597 百万米ドル(約 1 兆 8,743 億円 ³⁾)
⑥純利益(2008 年)	5,247 百万米ドル(約 4,774 億円 ³⁾)

◇BMSI 社の概要

①商号	PT Bristol-Myers Squibb Indonesia Tbk
②事業内容	OTC 医薬品及び医療用医薬品の製造及び販売
③設立年月日	1970 年 7 月 8 日
④本店所在地	インドネシア国ジャカルタ
⑤売上高(2008 年)	358,938 百万インドネシアルピア(約 33.0 億円 ⁶⁾)
⑥純利益(2008 年)	94,271 百万インドネシアルピア(約 8.6 億円 ⁶⁾)

³ 1 米ドル当たり 91 円で換算

⁴ インドネシアの法規制上、上場企業の支配権を取得した者は残存株主に対して公開買付を行う義務を負うと定められているため

⁵ 1858 年に Edward Robinson Squibb が米国ニューヨーク州ブルックリンに医薬品研究所を開設したことが Squibb 社の始まり。一方、1887 年に William McLaren Bristol と John Ripley Myers が Bristol-Myers 社を設立し、1989 年に Bristol-Myers 社 と Squibb 社が合併したことで現在の BMS 社が発足

⁶ 1 インドネシアルピア当たり 0.0092 円で換算

2. 本件取引の目的

当社は 1912 年(大正元年)の創業以来、「健康と美を願う生活者が納得する、優れた医薬品・健康関連商品、情報及びサービスを、社会から支持される方法で創造・提供することにより、社会へ貢献する」ことを使命とし、この使命を全うすべく、国際的な競争の中でも着実に成長・発展し続けられるように、一層強固な経営基盤を構築することを目指しております。

主力事業であるセルフメディケーション事業においては、生活者のニーズをとらえた商品開発に注力し、生活者の皆さまから評価され、ご愛用いただけるブランドの育成、強化に努めております。これらの方針の下、当社の研究開発、マーケティング、販売体制などのシナジー効果が発揮できるアライアンスにも取り組んでおります。主な実績として、1997 年(平成 9 年)の P&G グループからの便秘治療薬「コーラック」の事業承継、2002 年(平成 14 年)の P&G からドロップタイプののど薬「ヴィックス メディケイテッド ドロップ」及び塗る風邪薬「ヴィックス ヴェポラップ」事業承継を実施し、2008 年(平成 20 年)には活性乳酸菌製剤「ビオフェルミン」の製造会社であるビオフェルミン製薬株式会社の過半数株式の取得を行うなど、当社ポートフォリオとの補完関係が期待できるブランドや事業を積極的に獲得してまいりました。

当社は 1962 年(昭和 37 年)に日本で初めてとなるドリンク剤「リポビタン D」を発売し、翌 1963 年(昭和 38 年)には海外進出を開始しました。以来、香港、台湾、マレーシア、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、中国に現地法人を設立し、「エナジードリンク」という新しい市場を形成し、ドリンク剤市場の国際的リーダーとしての地位を確立いたしました。今後は成長が見込まれるアジア地域でのセルフメディケーション事業の戦略的強化、ブランドの構築に取り組んでまいります。

本件ブランド資産の代表的ブランドには、解熱鎮痛薬「Tempra」や外用消炎鎮痛薬「Counterpain」があります。Tempra は、インドネシア、フィリピンの解熱鎮痛薬市場において、また、Counterpain は、インドネシア、タイの外用消炎鎮痛薬市場において、トップクラスのシェアを誇っております。また、1970 年(昭和 45 年)に設立された BMSI 社は、インドネシアを拠点に、主として OTC 医薬品の製造及び販売を行っており、ジャカルタの郊外に 25,440 m²の敷地を持つ工場を有していることから、将来的な当社アジア事業の拡大戦略の中での生産拠点としての役割を果たすことが期待できます。

今回の買収により、当社では以下の効果を見込んでおります。

- ① アジア地域で高いブランド力を有する製品群を取得することによるアジア地域 OTC 医薬品事業への本格的参入が可能となります。
- ② 今後、当社が世界有数の OTC 医薬品メーカーとして培ってきた医薬品の知識・技術及び販売ノウハウと、BMSI 社がアジア地域において築いてきた知名度や強力な販売網を融合させることにより、BMSI 社の製品ブランドのみならず当社の既存製品についても売り上げの拡大を図ることが可能となり、アジア地域における当社の事業をさらに発展・拡大することが期待できます。

- ③ **BMSI** 社の生産設備を、将来のアジアにおける当社生産拠点として活用することが可能となります。

当社では、今回の買収を契機に、アジア事業全体を統括する会社をシンガポール、クアラルンプール等を候補として新設し、成長市場であるアジア地域における事業拡大を更に進めることを目指します。なお、当社は、**BMSI** 社役職員を今後のアジア事業展開の重要な戦力として考えており、彼らの現行の雇用及び処遇を維持する予定です。

なお、当社の財務アドバイザーは大和証券 **SMBC** 株式会社、法務アドバイザーは **Morrison & Foerster LLP**、会計アドバイザーは株式会社 **KPMG FAS**、税務アドバイザーは **KPMG** 税理士法人が務めております。

3. 今後の見通し

本買収に関する具体的な内容、当社業績への影響については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

以 上